

プロフィール（自己PR）

●私は損害保険会社に、大学を卒業（1974年）してから40年間勤務しました。営業職を経験していますが、主に管理部門の要職（人事・総務・経営企画・法務・コンプライアンス等の各部長職）に就いておりました。その間、大学・大学院の講師を2006年から2023年まで17年間務め、2足のわらじを履き続けてきました。担当していた教科は、コンプライアンス、リスクマネジメント、企業倫理でしたが、社会福祉も6年間担当しました。

●社会経験豊富といってよいと思いますが、特に感じていて次の世代に継承していきたいことは、人との出会いの大切さ、他人をおもんばかる心、リーダーの責任感、マイノリティーの意見に耳を傾け、最善の方策を考えるということです。マイノリティーの意見に関しては、書けば簡単のように見えますが、最善の解を求めることが難しいケースも多々あります。そのようなときは自分のモラルと倫理観で判断することとなります。

●2018年から中野区スポーツ推進委員を務めています。2024年度からは、2025年11月に開催されるデフリンピックを見据えて、委員会全体が体制づくりをしてきています。障がいをもつ人はさまざまですが、ろう者に対する社会の対応は他の障がいをもつ人と比べて進んでいないようです。ろう者は見た目では、健常者と変わらないのが一因と思われます。手話の普及を含め、中野区で積極的な対応策を実施、推進する一員でありたいと思っています。

●教育関係の知識に関しては、大学・大学院の実務教育を通じて関係法令、告示・通達などは、関心のある小・中学校のものを含め、ある程度把握しています。小・中学校の統廃合が進む中、学校長の胆力と教職員の自校で必要なことと行動が求められると思うので、両者の円滑な環境づくりを豊富な経験から考えたいと思っています。

●子どもたちが明るく、楽しく、元気よく、放課後の児童館で遊んでいる姿を、中野区スポーツ推進委員の職務を通じて見てきています。共働きが当たり前となった現在、学校教育とその延長線上にある児童館等での開かれた教育は、知識に偏することなく人間性を発達させる全人教育であることから、一層の推進を図りたいと考えています。

教育委員になった際に取り組む課題（箇条書き）

※優先度の高いものから順に、3項目以内で記入してください。

1.（課題）区内小中学校（小学校20校、中学校9校）を訪問し、学校長との面談 について

その解決方法（箇条書きで簡潔に）

●各校の現状の把握

●教育目標の進捗の確認

●いじめ、不登校の有無と有の場合の個別対策の状況把握

●教育活動の重点施策の確認

●大規模災害等発生時の対応と避難訓練の実施状況の把握

2.（課題）児童・生徒を健全に育成するための学校・家庭・地域の連携・教育体制の構築 について

その解決方法（箇条書きで簡潔に）

●学校が家庭や地域と連携するために、全教職員がコミュニケーション能力を発揮できる環境づくりと体制支援

●家庭からの相談窓口の整備と支援体制の構築

●地域ぐるみで児童・生徒を見守る地域コミュニティの構築への支援

●児童館の積極的な活用

3.（課題）教職員の業務を整理・見直し、多忙の一掃・排除

について

その解決方法（箇条書きで簡潔に）

●学校・教職員がしなければならない本来業務と、それ以外の業務の明確化

●「それ以外の業務」について、外部の支援・協力体制の構築

●外部の支援・協力体制について、指定管理者制度等の導入が図れるか否かの検討

●それ以外の業務で学校側がやらざるを得ない事情の洗い出し（学校側の積極的な情報発信）

氏名 渡部正治

教育委員に応募する理由（横書きで記入してください）

	少	子	高	齢	化	と	い	わ	れ	て	久	し	い	で
す	が	、	わ	が	家	の	前	の	通	り	は	保	育	園
の	お	散	歩	コ	ー	ス	で	、	い	く	つ	か	の	園
の	園	児	が	、	に	ぎ	や	か	に	散	歩	し	て	い
ま	す	。	ま	た	近	所	に	は	若	い	夫	婦	が	多
く	、	子	ど	も	た	ち	が	元	気	な	声	で	通	っ
て	い	る	の	で	、	少	子	高	齢	化	は	感	じ	ま
せ	ん	が	、	こ	の	一	角	だ	け	の	こ	と	で	し
よ	う	か	。	こ	の	子	ど	も	た	ち	の	健	や	か
な	成	長	を	願	う	の	は	親	の	み	な	ら	ず	、
社	会	全	体	で	す	。	公	平	・	公	正	な	教	育
機	会	の	均	等	の	確	保	と	充	実	は	誰	も	が
考	え	る	こ	と	で	す	。	こ	の	課	題	に	地	域
の	一	員	と	し	て	解	決	で	き	る	の	で	は	な
い	か	、	お	役	に	立	て	れ	ば	と	考	え	た	の
が	、	今	般	応	募	し	た	第	一	の	理	由	で	す
▶	児	童	・	生	徒	の	健	全	育	成	の	た	め	に
は	、	学	校	・	家	庭	・	地	域	の	連	携	・	協
力	が	不	可	欠	で	す	。	そ	の	仕	組	み	づ	く
り	と	体	制	構	築	に	知	恵	を	出	し	貢	献	し
た	い	と	思	っ	た	の	が	第	二	の	理	由	で	す
▶	教	育	委	員	の	役	割	は	、	学	校	・	社	会
教	育	、	文	化	・	ス	ポ	ー	ツ	に	関	す	る	区
の	教	育	関	係	事	務	の	管	理	・	執	行	と	認
識	し	て	い	ま	す	。	大	局	観	を	も	ち	、	現
場	の	声	に	耳	を	傾	け	て	、	職	務	に	励	み
た	い	と	考	え	て	い	ま	す	。	※1枚以内で記入してください				